

## 組合員アンケートの結果をお知らせします

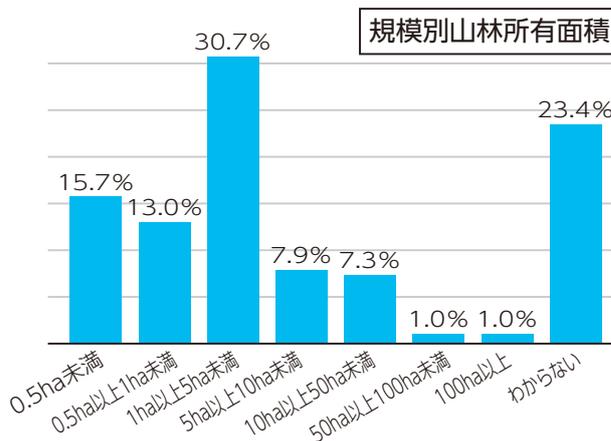
組合では、組合員の抱える課題や意見を把握し、それらの解決や反映を通じて組合事業の一層の進展を図るとともに、組合員サービスを拡充することを目的に、8項目の設問と自由記述からなるアンケートを実施。

アンケートは昨年10月～11月に郵送により実施し、組合員数1,796人のうち541人(30.1%)から回答をいただきました。

今号では、アンケート結果の概要をお知らせします。

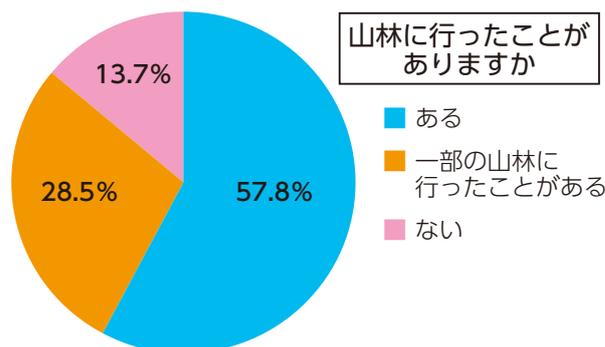
### Q1. あなたの所有している山林面積は？

本組合の組合員となるための所有山林面積要件は0.1haです。所有面積別では1ha以上5ha未満の所有者が最多で、30.7%を占めています。50ha超、100ha超も、それぞれ1%程度で、大面積所有が少ないということも本組合の特徴です。



### Q2. あなたは所有している山林に行ったことがありますか？

グラフに示すとおり、13.7%が行ったことがない、28.5%が一部の山林に行ったことがあると回答。所有する山林がどこにあるかわからない、不在村山主である等の理由が考えられますが、山林・林業への関心が薄れていることに帰着するのではないのでしょうか。



### Q3. あなたは所有している山林の状況や境界を把握していますか

グラフに示すとおり、所有山林の状況も境界もわかるが21.3%に対して、「あいまい」や「わからない」の回答が、78.7%にものびりました。自由記述には、特に「境界がわからない」ために、子に相続させたくない、処分してしまいたいとの記述が多く寄せられています。



### Q4. あなたが所有している山林が、いつか収入を生むことを期待していますか？

収入を期待している、期待していないに大別すると、期待しているは23%、期待していないは実に77%にも達します。さらに、期待しているの中で「安定的な収入を期待している」は5.8%に過ぎません。

ウッドショックに伴う一時的な価格の上昇はありましたが、これまで木材価格の低迷が長く続き、「山なんか持っていて、一銭にもならない」が既定の事実として刷り込ま